

新型コロナウイルス感染予防のための具体的対策の継続と変更について（職員周知）

いわき市における新型コロナウイルス感染状況は、5月3日を最後に今日まで44日間連続で感染確認されていません。

また、日本救急医学会などは、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた熱中症予防に関する提言を公表し、マスクの着用などの感染予防策が熱中症のリスクを上げるとして対策を呼びかけるとともに、今後に予測される熱中症患者搬送増による医療機関のコロナ対策への悪影響が懸念されています。

したがって、対策を継続するとしながらも、一部を柔軟な対応に変更することにより熱中症予防にも努めることとします。

- 1 マスク着用に関しては、外出業務、訪問者対応業務などを除き、当該事業所の関係者（利用者と職員）のみで活動する際には柔軟な対応とする。
ただし、三密が回避されていることを前提とし、その環境が保てない場合には着用義務とする。（新）
- 2 熱中症対策のためにエアコンを使用する際にも、密閉空間とならないよう窓や出入口を多少でも2か所以上開ける、換気扇を回すなどの対策を怠らない。（新）
- 3 頻繁となる水分補給介助の際には、その都度、使い捨て手袋の使用とマスク着用などの飛沫対策に努める。（新）
- 4 別紙「新型コロナウイルス感染対策のための職員バイタルチェックについて」に基づく毎日の職員バイタルチェック。（継続）
- 5 全ての訪問者（来客、業者、保護者など）には、入り口での手指消毒とマスク着用を求める。（継続）
- 6 訪問者へのお茶等の飲食物提供をしない。（継続）
ただし、熱中症予防の観点から、予めペットボトル茶などを用意して帰る際に渡すなどの対応も考慮する。（新）
- 7 外部から帰った際、外部からの物品を受け取った際、マスク着脱後など、ウイルス付着の可能性がある場面での手指消毒。（継続）
- 8 エタノール液、クリンミスト液、オゾン装置、空気清浄機、換気扇などの活用。（継続）
- 9 事務室も含め、使用する部屋の入口を常に解放し、かつ窓をある程度開けるなどの換気に努め、密閉を作らない。（継続）
また、利用者、保護者の対応時は、出来るだけ大きな部屋を使用し、席間を充分に空けて、入口と対角の位置の窓を開けることで空気の滞留を防ぐ。（継続）
（例）相談室や小会議室より大会議室を使用。
- 10 配布した手指消毒用スプレーの継続的かつ積極的活用。（継続）